

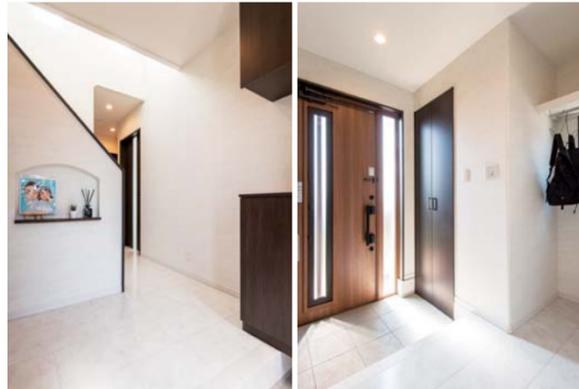
守屋建設 パナソニック・ビルダーズグループ
創業56年の実績とスケールメリットで
家族の予算に配慮した快適住宅を提案



ラグジュアリー感を強調する石張り風のサイディングをメインに、一部に木目調を織り交ぜることで温もりをプラス。室内から気軽に出入りできるウッドデッキと庭の芝生は「コストカットにも繋がるから」とDIYを趣味とするご主人自らが手掛けたもので、「友達を招待して、みんなでバーベキューするのが楽しみです」と夢を語る。



間仕切りや柱の数を可能な限り減らしつつ、広大な空間が確保できる耐震工法「テクノストラクチャー」を採用したM氏邸のリビング。ご主人が家づくり当初より憧れていた、折り上げ天井の間接照明やメイン壁のエコカラットが華やかさを演出。また、飾り棚にはご家族の記念写真や雑貨、同社・設計担当の内田氏が制作した模型を飾っている。(この見聞き頁の写真はM氏邸)



LDKとはまた異なる雰囲気を出す、玄関ホールに石目調タイル。吹き抜けの階段から差し込む太陽光の効果も加わり、より輝いて見える。土間やコートクロークなど収納力も◎。



玄関とキッチン、洗面脱衣室を結ぶ回遊動線を実現。「距離が近く動きやすい」と奥様も絶賛。



壁の圧迫感を避けるため、ご主人のリラックススペースであるトイレもゆとりある広さを確保。



基本は引き戸を開け放ち、リビングの続き間としてキッズスペースや洗濯物を干す＆たたむランドリールームとして活躍する和室。客間としての用途も。



リビングやダイニング、キッチンに程良い距離感を設けたのは、「寛く」「食べる」「料理する」など、目的に応じてはつきりと空間を分けるため。



「明るさ」を意識した1階とは対照的に、寝室は「いつでもぐっすり眠れるように」(奥様)と床や壁の色合いをシックにコーディネート。



キッチンから目の届く距離で子どもが宿題できるよう、スタディーコーナーを併設。さらに採光目的のフィックス窓や人目に触れにくい位置に配した書類用のマグネットボードなど、工夫がいっぱい。

決め手は担当の人柄&理想の間取りが実現できたこと!



※前橋市・Mさんご家族

Q1. 守屋建設との出会いを教えてください。
最初は住宅展示場に足を運び、ハウスメーカーを中心に話を進めていました。ただ、「リゾート感のある、お洒落な住まい」を望んだ私たちの心に響くようなデザインにはなかなか巡り合えず、間取りに関しても「自然と家族が集まる、広いリビングにしたい」という要望を伝えても、構造上の都合から断られるなど、「この会社で建てたい」と感じられるような決め手に欠けていたんです。守屋建設さんはもとより仕事で付き合いがあったため、上司を通じて設計の内田さんを紹介してもらったことがキッカケでした。

Q2. 守屋建設に家づくりを依頼した決め手は?
決め手はテクノストラクチャー工法のお陰で広々としたリビングが実現できたこと、そして内田さんの人柄です。例えばハウスメーカーでは間取りを修正するのに1か月以上かかるので今一つ気持ちが乗れず、何を言ったのかすら忘れてしまうことも多々ありました。対して内田さんは1~2週間程度で新たなプランを提案してくれるので、私たちもしっかりと考える時間を確保しつつも、リズム良く打合せが進んでいくんです。信頼できる人がいてこそ満足していく家になるのだと、心から実感しましたね。

家づくりの際、あなたが特に重視するものは何だろうか? 品質・デザイン・耐久性・価格 etc.: 譲れない条件は多々あれど、「どれも妥協したくない」とのホンネも無視できない。そこで紹介したいのが、パナソニック・ビルダーズグループに加盟する守屋建設だ。同社は梁に鉄骨を挟み込む耐震工法「テクノストラクチャー」を採用。綿密な構造計算と繰り返す行う耐震実験によって「震度7」にも耐えうるほどの強度を実現。さらにパナソニックの最新設備や従来の木造住宅では難しいとされてきた間仕切りのない開放的な設計、そしてジャンルを問わないデザイン性など、住まいに求めたくなる要素の全てを兼ね備えながら、坪単価/48万円という子育て世代に嬉しい価格帯での提供を可能とした。

創業から56年、地元を中心に設計・開発・建設と様々な事業で豊富な実績を積み重ねてきた同社。専門知識を有する一級・二級建築士も多数在籍しており、「地域密着」を掲げる企業ならではの信頼性も大きな魅力。景気の先行きが不透明な今だからこそ、安心して任せられる一生のパートナーを探すべきだ。

パナソニックの最新設備が標準仕様! 光熱費の削減で、エコな日々を送ろう

価格の目安
坪48万円~
(施工面積38坪の場合)

施工エリア
太田市・伊勢崎市・桐生市
館林市・足利市・佐野市
を中心とした両毛地域



Webで資料請求